

登録コード	SD516200	開講年度	2026				
授業題目	地震学					担当教員	常盤 哲也 他
英文授業名	Seismology					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	3年生
講義室	理学部第8講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	自由 / 必修
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識					地震のメカニズムについて理解できるようになる．	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	地震を理解する上で必要な地震波の理解を深めると共に、震源の決定方法などを理解する．また、地震の発生メカニズムや分布を学び、地震に伴う諸現象についても理解を深める．						
(5)授業のキーワード	科学リテラシー 自然科学の基礎知識 地震と防災						
(6)授業計画	講義日程：8/5(水)5限～8/8(土)5限 1.地震の概要 2.地震波 3.地震波不連続面 4.震源決定 5.マグニチュードと震度 6.地震のメカニズム 7.グーテンベルグ・リヒター 8.マグニチュードと断層の関係 9.地震に伴う諸現象 10.地震の分布 11.東北沖太平洋地震 12.南海トラフ 13.地震発生確率 14.地震災害（地盤の強弱との関係） 15.最新の観測結果・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	単元ごとのレポート課題により評価を行う．						
(8)成績評価の基準	地震のメカニズムや分布状況のアウトラインが理解できていればC（60～69点）、メカニズムの内容を正しく理解できていればB（70～79点）、地震による諸現象との関係まで理解できていればA（80～89点）とする．特に正確に知識を習得することが出来ていればS（90～100点）とする．						
(9)事前事後学習の内容	特になし						
(10)履修上の注意	専門科目なので、地球学コース以外の受講者は、地学に関する基礎的な知識の事前習得が必要である．						
(11)質問,相談への対応	オフィスアワーは講義終了後．その他の授業時間以外にも、対応可能な場合はいつでも研究室（理学部C棟410）において対応する．						
【教科書】	特になし．適宜資料を配布する．						
【参考書】	「地震と火山」安藤雅孝ほか 東海大学出版社（2750円）						